



武雄市立西川登小学校 『校訓』 ただしく・やさしく・たくましく

長子配布

学校だより

西っ子

Try & Error & Cheer

30号 令和7年12月19日
文責：校長小川 修

学習参観及び長縄大会への応援 ありがとうございました！

12月12日に行いました、学習参観の様子はいかがだったでしょうか。どの学年も、日常の学習のまとめであったり、成果発表会でした。子ども達は、保護者の皆様に観てもらうことを心から楽しみにしていました。

“発表がうまくできるかなあ・・・”とか“楽しんでくれるかなあ”とか心配しながらも笑顔で頑張ろうとしている表情がステキでした。また、長縄運動も、練習を重ねるごとに上達する子ども達でした。回し手と跳び手が気持ちを合わせることや、次々に連続して跳ぶうちに感じる“心地よさ”が、この運動のおもしろさです。大会ということで、順位がつきましたが、それには関係なくどの班もこの心地よさを味わえたことが何よりだったと思います。寒い中の応援、ありがとうございました。

読み語り・花まるタイム 地域ボランティアの皆様へお礼の気持ちを込めて

今年も、読み語りや花まるタイムの丸付けに来ていただいている地域の皆様に、感謝の気持ちを込めて、鉢植えのパンジーを届けました。



年明けは、1月15日から再開しますので、よろしくお願ひいたします。



【いじめ・体罰アンケートへのご協力ありがとうございました】

県内すべての学校で、年2回のアンケート調査を実施しています。それに加えて本校は独自に毎月「月の心」アンケートを実施し、子ども達の状況把握と支援に役立てようとしています。

子どもの世界では、どのようなことが切っ掛けでトラブルに発展するか予想ができない時があります。また、トラブルの内容も様々です。友達のことが好きで、仲良くしたくて、でもどのように遊びに誘っていいかわからなくて、思っていることと逆に意地悪をしてしまう。ということもあります。また、二人でいたいけど、その人が他の人と仲良くしている姿を見るとなんだかイヤな気持ちになってくる。なんてこともあります。

しかし、このような感情や行動は子どもだからではなく、大人の世界でも起こっていることです。前回（29号）記述しましたが、子どもはまだ発達途中。自分の感情をコントロールしたり、思いを適切な言葉や行動で表現することがうまくできない時がありますし、年齢でも大きな差があります。だからこそ、大切なことは、周囲の大人が話を聴いてあげることです。子ども達が心の中に抱えているものがあれば、それをしっかりと聴いてあげることです。大概の事は、安心して話せる人がいて聴いてもらえば、子ども自身で自己解決に向かいます。

周囲も“解決してあげなきゃ”と構えず、普段から「最近調子はどう？」とか「いつでも話を聞くよ」とか、気軽なアプローチを続けることです。

※本校ではSNS上のトラブル報告はありません。今後も十分に注意をお願いします。



新年を迎える準備

今年も残り2週間を切りました。ショッピングセンターの売り場には、すでに正月飾りコーナーが設けられていたり、お節料理のチラシや大晦日にある“紅白〇〇合戦”的お知らせを見たりすることで、だんだんと年末に向かっている実感が出てきました。

このような時期に、今年も西川登町老人クラブ連合会の皆様によって、学校の玄関に立派な門松を設置していただきました。また、恒例となった1年生と老連の皆様との交流門松づくりも実施していただきました。ありがとうございました。

今年もたくさんの町民の皆様に支えられ、見守っていただいたおかげで2025年を終えることができます。感謝申し上げます。来年もよろしくお願い申し上げます。

